

令和5年 7月7日

島根県立松江工業高等学校 定時制課程

担当者 菅原 夏樹、松本 卓也

TEL 0852-67-2118

FAX 0852-67-2128

定時制生徒が「簡易式たたら」で伝統技術・技能を体験

県教育委員会の「しまねの高校生学力育成事業」の一環として、松江工業高校・定時制課程の機械科生徒が、機械実習の時間に「たたら製鉄」の伝統技術・技能を体験します。今回は公益財団法人 鉄の歴史村地域振興事業団のご協力を受け、貴重な島根県産の砂鉄を使用した簡易式たたらでの製鉄となります。昨年度に引き続き、少し進化した簡易式たたらを実現させ玉鋼の生成を目指しと関係者一同準備を進めております。

外部講師による実技指導で知識・理解を深め、専門分野への興味関心を高めるだけでなく、地域の伝統を理解し継承することで技術・技能だけでなく、コミュニケーション能力、も身に付けてほしい。そんな将来の地域の担い手である生徒の人材育成を目指します。

記

- 1 日 時 令和5年 7月14日（金） 13:00 ～ 「火入れ・砂鉄投入・炭入れ」
19:30頃～ 「鋤(けら)出し」
- 2 場 所 松江工業高等学校定時制昇降口近辺の野外テント下
- 3 外部講師 公益財団法人 鉄の歴史村地域振興事業団 小林 憲生 氏
- 4 参加生徒 本校定時制 機械科1年生4名 3年生3名、4年生2名、計9名
- 5 内 容 昨年度の「簡易式たたら」と基本的に同じですが、初めて島根県産の砂鉄を主材料にして、新たに炉内に土を貼る工夫を試みます。生徒主体で、築炉から操業、鋤(けら)出しまでを行います
島根の伝統製鉄法である「たたら製鉄」は、専門科目「機械工作」でも取り扱われています。
- 6 そ の 他 ・火が上がるので昨年と同様に松江消防署には報告連絡済み
・防火と安全に注意して実施いたします。